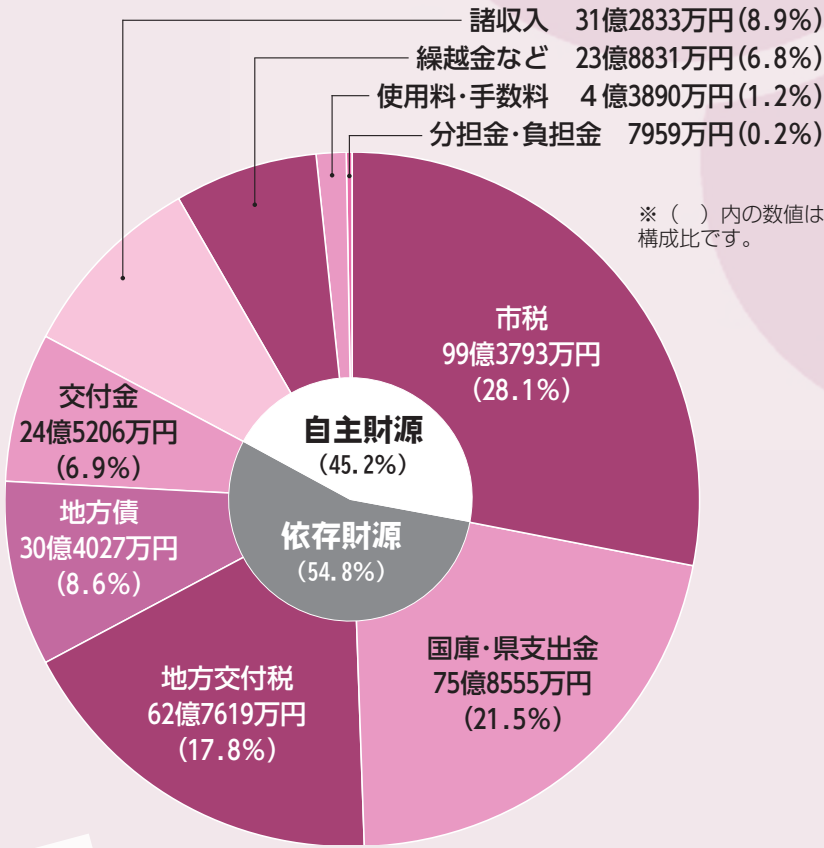


# 塩尻市のお財布事情

令和3年度にどのくらい収入があり、どのような目的で使われたのか、普通会計の決算状況をお知らせします。

**歳入 353億2713万円**



問 財政課財政係 ☎026330280 内線1361

## 令和2年度に比べて歳入どうなっている？

### 歳入全体は減

歳入全体では、国庫・県支出金や地方債が減少したことなどにより12.7%、約51.2億円の減に。

### 市が自分で集める自主財源は増

市税や、使用料・手数料、分担金・負担金はそれぞれ減少しましたが、諸収入や繰越金などが増加したため、全体で2.2%の増に。

### 国や県からの依存財源は減

国庫・県支出金や、地方債の借入れが減少したため、全体で22.1%の減に。

### 市税全体は減

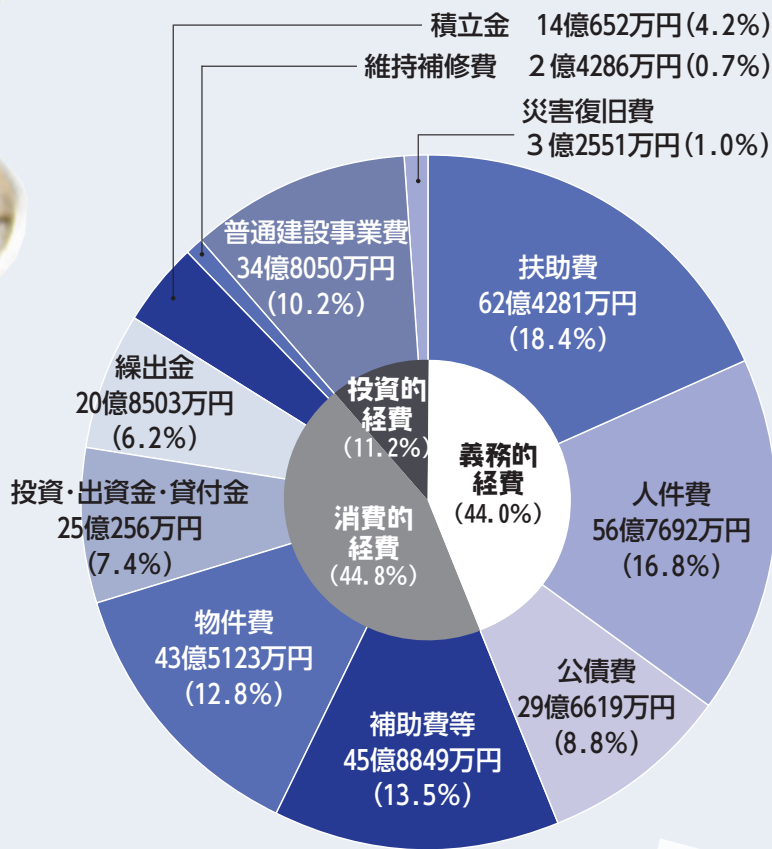
市たばこ税や、軽自動車税は増加しましたが、市民税や固定資産税が減少したことで、全体では減に。

## 市税の内訳





# 歳出 338億6862万円



## 令和3年度 主な新型コロナウイルス 感染症対応策

### ▶▶▶ 塩尻市独自事業

中小企業融資 あっせん事業	26億100万円
プレミアム付 商品券事業	3億9666万円
中小企業支援事業	5315万円
新型コロナ中小企業 等独自応援金事業	1518万円
新型コロナウイルス 感染症対策観光振興事業	1050万円
テイクアウト デリバリー応援事業	398万円

### ▶▶▶ 国からの補助事業

子育て世帯への 臨時給付	9億8702万円
住民税非課税世帯等に 対する臨時特別給付	4億151万円
新型コロナウイルス ワクチン接種対策費 負担金	3億5918万円
新型コロナウイルス ワクチン接種体制 確保事業費臨時補助金	1億8386万円

## 目的別にする

その他	6億3564万円 (2.0%)
消防、防災対策	8億5324万円 (2.5%)
農林水産業の振興 健康、衛生の推進	10億4531万 (3.1%) 19億9736万円 (5.9%)
市の借金返済	29億6619万円 (8.7%)
道路・公園などの整備	35億902万円 (10.3%)
教育・文化の振興	37億869万円 (11.0%)
商工、観光の振興	37億8336万円 (11.1%)
市の運営	43億9782万円 (13.0%)
福祉の充実	109億7199万円 (32.4%)

## 令和2年度に比べて 歳出どうなっている？

### 歳出全体は減

歳出全体では、普通建設事業費や補助費等が減少したことなどにより13.7%、約53.6億円の減に。

### 必ず支払わないといけない 義務的経費は増

人件費や扶助費がそれぞれ増加したため、全体で12.5%の増に。

### 公共用施設などに使う 投資的経費は減

災害復旧費が大雨災害の影響で増加しましたが、普通建設事業費が減少したため、全体で32.8%の減に。

### 目的別だと福祉の充実が大

障害福祉サービス給付費や生活保護など福祉の充実に係る経費が大きくなっています。次に大きいのは、人件費などが入る市の運営です。

# 歳入

## 塩尻市の財政



■家族構成  
親子2世帯  
お父さん、お母さん、子ども3人  
おじいちゃん、おばあちゃん

使用料・手数料  
4億3890万円  
(1.2%)

分担金・負担金  
7959万円(0.2%)

繰越金など  
23億8831万円(6.8%)

交付金 24億5206万円  
(6.9%)

地方債 30億4027万円  
(8.6%)

諸収入 31億2833万円  
(8.9%)

地方交付税  
62億7619万円  
(17.8%)

国庫・県支出金  
75億8555万円  
(21.5%)

市税 99億3793万円  
(28.1%)

私たちの住む塩尻市の財政状況は大丈夫？

▶地方債は道路を整備したり建物を建てたりする時などに国や銀行などから借りるお金のことです。地方債は借金なので、借りたときは歳入ですが基本的に翌年度から一定の期間で返済すべきお金になります。令和3年度は主に小坂田公園の再整備事業や榎川の義務教育学校の工事費などに使いました。



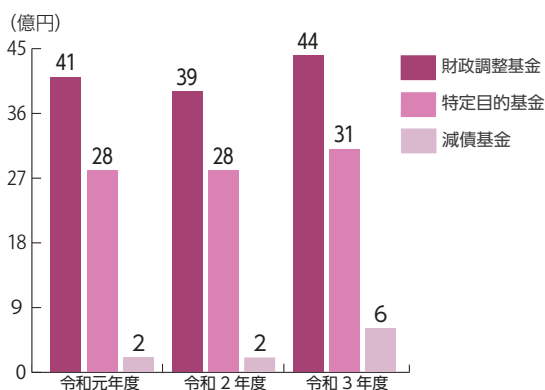
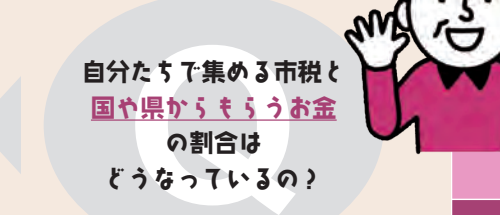
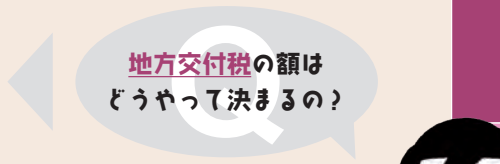
▶自治体間での財政格差を補うことを目的として、市の財政状況に応じて国から交付されます。所得税、酒税、法人税、消費税、たばこ税の国税のうち、それぞれの一定率を財源としています。

▶市の歳入には、市税や負担金、繰越金などの自主的な財源である自主財源と国や県からの支出金、地方交付税からなる依存財源があります。自主財源の割合は約45%、依存財源の割合は約55%となっており、本市では自主財源が少ない中で、国や県などの支出金や交付金、財政負担の少ない有利な地方債などを活用しながら市政の運営をしています。

▶新型コロナウイルスの影響もあり、課税所得が減少したため、個人市民税は減少しました。また、固定資産税も減少していますが、その背景には事業収入が減少している中小企業者・小規模事業者に対して軽減措置を行ったことがあります。



小坂田公園は令和5年春に  
リニューアルオープンも予定!



## 塩尻市の貯金はどれくらい？



市民1人当たりの  
貯金は  
12万2444円

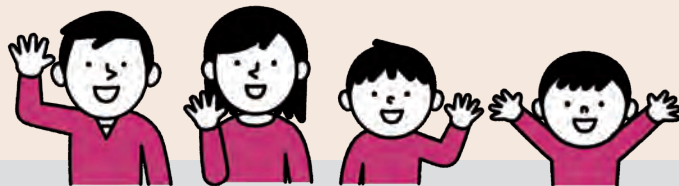
市の貯金である基金には、年度間の財源の変動に備えて積み立てる基金や特定の目的に利用するための基金など3つの種類があります。令和3年度は国の財政措置を効果的に活用したことや、ふるさと寄附金が好調だったことなどにより、財政調整基金が過去最高の44億円余りとなりました。県下19市では8番目に良い数字です。

# 貯金

# 歳出

# 教えて！！

塩尻さん家  
7人家族



私たちが納めている税金はどんな風に使われているの？

維持補修費 2億4286万円(0.7%)
積立金 14億652万円(4.2%)
繰出金 20億8503万円 (6.2%)
投資・出資金・貸付金 25億256万円(7.4%)
公債費 29億6619万円 (8.8%)
普通建設事業費 34億8050万円(10.2%)
物件費 43億5123万円 (12.8%)
補助費等 45億8849万円 (13.5%)
人件費 56億7692万円 (16.8%)
扶助費 62億4281万円 (18.4%)

災害復旧費  
3億2551万円  
(1.0%)



貯金はどのくらいあるの？

▶市の貯金として基金に積み立てたものを積立金といいます。令和3年度の積み立てにより財政調整基金は過去最高の基金残高となりました。



補助費等って何に使われているの？

のーと塩尻は塩尻東地区で実証運行を開始！



▶補助費等とは市から他の組織などに対して、行政上の目的により交付される経費です。広域連合への負担金や、中小企業への支援事業、オンデマンドバス実証実験や塩尻型MaaS構築事業への負担金など今後の市民の皆さんの暮らしにつながる事業に対して使いました。



人件費は何でこんなに多くなっているの？

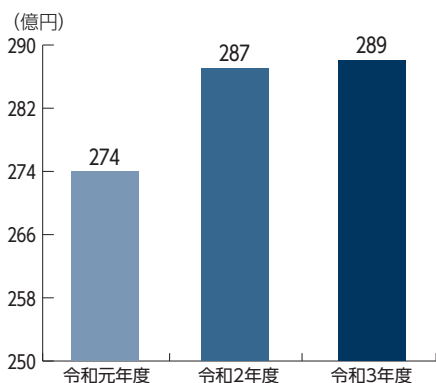
▶人件費の割合は、19市の中でも高くなっています。中でも児童福祉費の人件費の割合が高く、児童福祉費には保育所の人件費も含まれています。これは、本市が保育現場への人的投資に力を入れているためです。一人ひとりの子どもの育ちに寄り添う保育を実施するため、国の保育士配置基準より手厚く配置しています。



扶助費っていうのが一番多いみたいだけど、一体どんなことに使われているの？

▶扶助費とは、生活に困っている人や子育てをしている世帯、障がい者などの生活を支えるためのお金です。令和3年度は、新型コロナウイルスの影響を受けた子育て世帯への臨時給付金や生活保護費などの支援に使いました。

# 借金



## 塩尻市の借金ほどくらい？



市民1人当たりの借金は

43万5728円

市の借金である地方債残高は、令和3年度に1.6億円増加し288.9億円となりました。県下19市で比べると9番目となっています。ただし、今後は老朽化してくる建物や道路の長寿命化など、ハード事業による地方債の需要は高まっていきます。交付金や財政負担の少ない有利な地方債などを活用するなど、借金をなるべく増やさないような財政政策が必要となってきます。



金額が大きすぎてなかなか実感が湧かない…



難しい言葉がいっぱいで分からないところがある

ポイント

※令和3年度決算の歳入総額を500万円に置き換えて、家計に例えています。



# 塩尻さん家の家計に例えてみた

## 収入

## 支出

項目		決算額
給料	市民税、固定資産税などの市税	140万6558円
	地方交付税	88万8296円
パート収入	分担金・負担金	1万1265円
	使用料・手数料	6万2119円
雑収入	財産収入、寄付金、諸収入	57万791円
先月の残り	繰越金	17万3658円
預貯金の引き出し	繰入金	3万6345円
親からの援助	国庫・県支出金	107万3675円
	交付金	34万7050円
家の改築ローンの借り入れ	地方債	43万303円
合計		500万円

項目		決算額
食費	人件費	81万4907円
家族の医療費・養育費	扶助費	86万2843円
ローンの返済	公債費	43万1421円
光熱水費・通信費	物件費	62万3164円
クラブ活動	補助費等	67万1100円
友人への援助	投資、出資金、貸付金	33万5550円
子どもへの仕送り	繰出金	28万7614円
貯金への積み立て	積立金	19万1743円
家の増改築・補修	維持補修費	4万7936円
	普通建設事業費	47万9357円
	災害復旧費	4万7936円
合計		479万3571円

○差し引き残高 20万6429円



指標から見る

## 塩尻市の財政力まとめ



### 令和3年度は黒字決算！

塩尻市の令和3年度の歳入は353億円余りで、歳出は338億円余りとなりました。歳入歳出差引額から翌年度に繰り越すべき財源を除いた実質収支は11億円余りとなり、黒字決算です。

### 塩尻市は他の市と比べても成績良好

財政基盤を表す数値として、財政力指数というものがあります。本市における財政力指数は0.64と県下19市の平均以上、さらに県下4番目の数値となっており高い水準を示しています。これからも健全な財政運営に努めていきます。

主な財政指標	
<p>経常収支比率</p>	<p>家計における給料などの定期的な収入に占める食費や光熱水費といった、常に必要な支出割合を示したものです。</p> <p>県下平均 <b>86%</b> 塩尻市 <b>87.1</b> 県12位</p>
<p>財政力指数</p>	<p>生活に例えると、普通の生活ができるだけの費用をどれだけ自分で稼げるかの割合を示したものです。数字が1に近いほど良いです。</p> <p>県下平均 <b>0.56</b> 塩尻市 <b>0.64</b> 県4位</p>
<p>将来負担比率</p>	<p>生計を共にする世帯で、今後の住宅取得や自動車購入などの借入金の返済見込額と貯金の状況をもとに、将来の負担がどのくらいの割合なのかを示すものです。数字が低いほど良いです。</p> <p>県下平均 <b>26.7</b> 塩尻市 <b>17.4</b> 県9位</p>
<p>実質公債費比率</p>	<p>生計を共にする世帯で、1年間の支出のうち住宅取得や自動車購入などの借入金があった場合にその返済などがどのくらいの割合であったかを示すものです。数字が低いほど良いです。</p> <p>県下平均 <b>7.1</b> 塩尻市 <b>6.4</b> 県6位</p>

## 家計簿もポイントで見よう！



我が家の収入を支えているのは何だろう？

塩尻さん家の収入は給料(市税など)が約46%、残りは親からの援助など(国庫・県支出金など)に頼っています。令和3年度は新型コロナウイルスの影響を塩尻さん家も受け、給料(市税)が減ったことなども影響して、収入全体は少なくなっています。



主に何にお金を使ったのだろう？

塩尻さん家の歳出は、食費や医療費・養育費・ローンの返済など(人件費や扶助費など)の大きく削ることができない経費の割合が支出の約半分に近い割合となっています。

また、令和3年度は8月の大雨災害によって家の改修が必要になったため、家の補修費(災害復旧費)が例年よりも多く掛かりました。



僕の家でも物の値上がりの影響は受けたのかな？

光熱水費・通信費(物件費)は昨年よりも増額しており、物価高騰は塩尻さん家にも影響を及ぼしています。

物価高騰は今後も塩尻さん家に影響を及ぼすため、無駄な経費の削減や、貯金(基金)の取り崩しが必要になります。

※決算の詳細は、市ホームページ(<https://www.city.shiojiri.lg.jp/soshiki/11/13491.html>)でもご覧いただけます。

